

## 第19期 第10回常任理事会

## 議 事 録

日時 昭和52年9月12日 15:00~17:00

場所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 浅井, 朝倉, 内田, 奥田, 神山, 門脇,  
杉本, 立平, 松本, 股野

## 報 告

- [庶務]
1. 8月22日, 日本アイソトープ協会から, 「第15回理工学における同位元素研究発表会」の共同主催について依頼があった。
  2. 8月30日, 計測自動制御学会から, 第3回リモートセンシングシンポジウム開催の通知がきた(11月4~5日於機械振興会館)。
  3. 9月5日, 日本建築学会から, 第24回風に関するシンポジウムのプログラムの掲載方依頼がきた。
  4. 9月10日, 日本学会事務センター・事業部から, 「学会誌」展示会の開催について報告がきた。

## ○昭和52年度学会奨励金書面審査の結果

投票総数 24

全員可とするもの 24

よって, 小形明, 宮川和夫, 永沢義嗣,  
佐々木芳春, 以上4名が受領者と決定した。

[会計] 7月, 8月分の収入, 支出について報告。順調に経過している。

[気象集誌] 55巻5号(10月号)は, 8編のうち6編までが外国からの投稿で稀なケースである。目下順調に進捗しており昨年のようなことはない。しかし, 原稿のストックが底をついてきている。

## 議題 1. 名簿作成について

来年作成する時期に当たっているので, 事務局から次のとおり提案があった。

昨年の天気23巻5号が, 本誌の頁数より付録の名簿の方の頁数が多かったために, 第3種郵

便規則に違反している旨中央郵便局から注意され, 同局経由東京郵政局長あて始末書を提出させられた。

他の学会の状況を調査したところ, 別冊として, 有料のところ, 無料のところがある。

当学会案としては,

第1案: 別冊とし, 希望者を募って有料で頒布する。

第2案: 別冊とし, 会員に無料で頒布する。この場合は, 印刷費, 送料共で100万円は必要とする。

以上の提案に対し,

ア. 名簿のスタイルを考慮する

イ. 訂正だけを出す

ウ. 全国理事会に提案して意見を出して貰う  
ということで結論は出なかった。

## 2. 「第15回理工学における同位元素研究発表会」の共同主催について

共催とすることを了承。運営委員は, 従前通り気象研究所の矢野直会員を推薦することを了承。

## 3. 全国理事会議題

## (1) 学会の財政問題

杉本理事から昭和53年度予算案(第1次)について説明が行なわれた。

ア. 会費は, 8月31日現在の会員数を基礎として算出したが前年より約100万円増となる。

イ. 雑誌図書頒布は, 約130万円の増となる。

ウ. 文部省助成金は, 28万円の増となる。

エ. 支出では, 印刷編集費は, 物価高の影響を考慮して印刷費10%アップとして約440万円の増となる。

人件費はベースアップを考慮し7%アップとした。

その他は、昨年並みと計上したが翌年度繰越金は2,600万円となる。

学会の運営は、会費、文部省助成金、雑収入だけでは不可能である。これに対し、ア、気象研究ノートの収入も含めて学会は運営すべきである。

イ、支部交付金の増額を考慮すること。

ウ、学会費を応用編も含め2件としてはどう

か。

との意見が出て、臨時収入を分かりやすくした資料を添え予算案を手直しして全国理事会に図ることになった。

(2) 希望部門の分類の改正(案)について

“天気”8月号に掲載して意見を出していただくようにした。

承認事項：池田元美ほか3名の新入会員を承認。